

【重点取り組み】

「親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議*（地域情報交換会等）を中心に推進します。

1. 子育てしやすいまちづくりについて

子ども支援センター・地域子育て支援センター子育てアドバイザー（保育士）と母子保健課保健師を中心に、地域の現状や特性に合わせた活動をすすめています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、地域情報交換会は書面等での開催となりました。

地 域	地域会議開催数	主な取り組み内容
阿 蘇	2回	令和2年度より、子ども支援センターすてっぷ21勝田台と米本南保育園が連携を図って阿蘇地域を担当することになった。このため地域会議では、新旧担当が経過と今後の課題を共有した。地域情報交換会の委員には、広報やちよ1月15日号「妊娠期から乳幼児期までの情報を公開」の記事と、「阿蘇地域子育て支援の取り組み」を作成。この2つの資料を郵送・持参し、電話で各団体の活動状況等を把握した。
村 上	4回	新型コロナウイルス感染症の影響で海外への渡航制限があったこと等から、多文化交流センターと情報交換し、村上地域の外国籍の住民の課題を共有した。地域情報交換会は中止となったが、地域子育て支援センターや母子保健課のコロナ禍での活動について紙面で関係機関へ周知した。 地域会議では、予約制で実施している遊びと交流の広場の利用状況や親子の様子を共有。同年齢の親子との交流を希望する母子について、子育て支援センターを紹介し、アドバイザーの保育士へ支援を依頼した。
睦	2回	令和2年度より、子ども支援センターすてっぷ21勝田台と睦北保育園が連携を図って睦地域を担当することになった。このため地域会議では、新旧担当が経過と今後の課題を共有した。地域情報交換会は書面での開催とし、「コロナ禍での活動状況と睦地域で子育て家庭が親子で子育てを楽しめるような情報」についてアンケートを実施。3月に書面にて各関係機関に報告するとともに、子育て家庭に情報提供を行った。
大和田 (大和田・ゆりのき台・大和田新田下区)	2回	地域会議では、地域情報交換会（書面開催）に向けた話し合いと、各地区（大和田・ゆりのき・大和田下区）の支援が必要なケースについて情報共有した。 令和2年度の地域情報交換会は、「子育てしやすい地域づくりに向けて、地域の関係機関と情報交換・共有を図る」ことを目的にアンケートを実施。結果は、2月末頃に書面にて、関係機関へ報告した。 母子保健推進員との勉強会も中止したが、電話や保健センターに来所した際に、日頃の訪問での困りごとはないか等確認し、必要な情報提供を行った。

高津 (高津・ 緑が丘)	2回	<p>例年こあらタイムでやちよ元気体操を実施していたが、今年度はコロナの影響で開催を中止した。</p> <p>令和2年度の地域情報交換会は、「コロナ禍での活動状況と今後の子育て支援について」をテーマに、関係機関25か所にアンケートを実施し、地域がそれぞれの立場で、子育て支援をしている状況を学んだ。結果は関係団体に郵送・持参にてフィードバックしている。</p> <p>また、昨年度のテーマの防災に関して、情報交換会で学んだ事をこあら利用者に伝達し、地域のつながりの必要性を伝えられた。</p>
八千代台	3回	<p>地域会議では、支援が必要な家庭の情報共有と、地域情報交換会の開催方法の検討を行った。</p> <p>令和2年度の地域情報交換会は、会議形式での開催が難しく、関係機関へのアンケートを実施した。コロナ禍でも各機関が工夫して活動していることや、支援者が日頃感じていることについて様々な意見をいただき、今後の支援の参考とすることができた。アンケートの内容について書面にとりまとめ、関係機関に郵送にて報告するとともに、あいあいへ掲示し利用者にも情報提供を行った。</p> <p>あいあいがR1.7.1より八千代台保育園の新園舎に移設されたため、母子保健推進員から施設の見学をしたいという声がきかれていた。今年度は母子保健推進員の勉強会を開催できなかったため、母子保健推進員が個別にあいあいを見学できるよう調整を行った。</p>
勝田台	2回	<p>地域会議では、支援が必要な家庭の情報共有とすてっぷ21勝田台の広場の活用方法、地域情報交換会の開催方法を検討した。</p> <p>地域情報交換会は、10月に勝田台南小に移転したすてっぷ21勝田台の紹介と「コロナ禍での活動状況と今後の子育て支援について」をテーマに関係機関18か所にアンケートを実施し、地域がそれぞれの立場で、子育て支援をしている状況を学んだ。結果は書面にて各関係機関へ報告するとともに、子育て家庭に情報提供を行った。</p> <p>母子保健推進員との勉強会も中止したが、電話や保健センターに来所した際に日頃の訪問での困りごとはないか等確認し、必要な情報提供を行った。</p>

*地域会議とは、「子育てしやすいまちづくり」の実現にむけ、関係機関や住民組織が集まり、情報交換や課題を検討し実践する会議です。

2. 親の子どもへの接し方のスキルを高める事業について

1歳6か月児歯科健康診査において、厚生労働省の健やか次世代育成総合研究事業で作成された「子どもを健やかに育むために～愛の鞭ゼロ作戦～」のリーフレットを配布し、育児相談で子育てのアドバイス等を実施しています。

【その他の主な取り組み】

1. 子どもの食育に関する取り組み

「食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かなこころを育てます」

本取り組みは「やちよ食育ネットワーク協議会」が行う事業と、妊娠期から継続した食育事業の2本柱で推進しています。

（1）やちよ食育ネットワーク協議会が行う事業

◇食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の実施

農業生産者と関わりのある食育授業を小学校全校で実施することを目指して、平成24年度より食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を開始しました。小学3年生を対象に、人参・ねぎ・梨・ほうれん草・酪農のいずれかの農業生産者が学校に訪問し、農業生産者・学級担任・栄養教諭等の連携で授業を実施しています。



▲小学校での授業の様子。実際の作物を用いて人参の生産等について説明する農業生産者

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため5月まで学校が休校となっていたことから、実施については学校判断とし、小学校22校中、19校で授業を実施しました。

- ・やちよ食育ネットワーク協議会・分科会合同会議 2回開催

＊新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面会議となりました。

（2）妊娠期からの継続した食育事業

◇妊娠期（プレママ教室）、乳児期（4・10か月児赤ちゃん広場事業）、幼児期（もうすぐ1歳半おやこ広場、「みんなで食育事業」注1）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

注1 みんなの食育事業とは：食を通じて生活力や育児力をつけることを目的に地域参画型・体験型で行う事業

◇幼児期・・・公民館・サークルからの依頼による出前食育講座（2回実施 参加者12組）、子育て応援ポケット事業での食育（相談人数84名 リーフレット配布枚数 561枚）

2. 思春期保健ネットワーク会議の取り組み

「思春期の子は自分や他者を大切に、生と性の課題について適切に対処します」

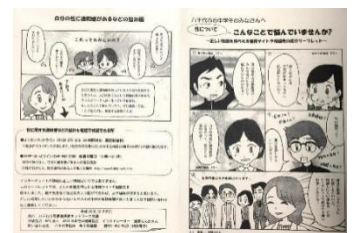
本取り組みは平成18年度に発足した八千代市思春期保健ネットワーク会議を中心に医師、助産師、学校関係者、保護者などのメンバーで推進しています。

（1）八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議を2回行いました。コロナ禍での思春期の子どもや保護者の様子、思春期保健で大切にしていきたいことについて意見を伺い、共有しました。

（2）中学生向けリーフレットの配布

性に関する正しい知識を得られるサイトや相談機関を掲載した「中学生向けリーフレット」を、市立中学1年生とその保護者を対象に配布しました。



（3）思春期保健ネットワークニュースレターの発行

保護者や教員を対象に、思春期保健ネットワーク会議の取り組みを伝えることを目的とし、会議の内容をまとめたニュースレターを発行しました。市立小学5～6年生と、市立中学1～3年生等に配布しました。（令和3年2月 第18報発行）